

平成25年度総会報告

平成25年度埼玉大学経和会総会が7月13日（土）埼玉大学経済学部504教室で開催された。

第1部定例総会は、総務委員長の司会で始まり、田坂会長の挨拶に引き続き、議長に昭和61年卒千葉健理事が選出され議事に進んだ。

議事に移り1号議案から4号議案まで審議され、いずれも執行部案通り可決された。ただし、経和会会計に関し、次年度繰越金が増えつつあるので、特別会計等への分離を行うなど、わかりやすい計上方法を検討すべきではないかとの要望があった。

また、会長から報告事項として経和会の活動は学生会員に対する就職支援が中心であったが、卒業生にも見える経和会を目指し、今年度より卒業生を対象に東京ステーションカレッジにて「経和会サロン」と称して講演会等を企画することが提案され、好意的に承認された。（添付：経和会サロン案）

第2部講演会は

NSファーファ・ジャパン元会長・齊藤洋氏のPB（プライベートブランド）、OME（大手メーカーからの受託生産供給）メーカーからNB（ナショナルブランド）メーカーへ至る、転身成長過程を、ご自身の経験を基にわかりやすく説明された。

また、講師の著書「夢心志」および同社の試供品やパンフレットが全員に配布された。

第3部懇親会は

薄井経済学部長のご挨拶と経済学部の近況報告から始まった。

来年は、文部科学省から、埼玉大学経済学部の「存在の意味」を説明しなければならない課題があること。その説明に、整合性がなければ、「存亡の危機」となること。など気になる報告があった。

埼玉にある国立大学経済学部としての特殊性を、十二分に説明して頂ければ、有難いものである。などの意見が聞こえた。

各人、懇親の最後は埼玉大学・大学歌の斉唱でお開きとなった。

なお、招待者含めて参加者は、総会53名、懇親会52名であった。

<第1部 定例総会>

1. 日 時：7月13日（土）13時～14時

2. 場 所：埼玉大学 経済学部504教室

3. 総 会：(1)会長挨拶

(2)議事

①平成24年度 事業報告

②平成24年度 決算報告および監査報告

③平成25年度 事業計画案

④平成25年度 予算案

(3)その他報告事項

<第2部 講演会> 14時～15時

演 題：「夢心志」PBメーカーからの脱皮

講 師：NSファーファ・ジャパン株式会社 前会長 齊藤 洋氏

<第3部 懇親会> 15時30分～17時

参加者は会員・学生会員を併せ52名、

大学側より薄井経済学部長、柳澤評議員、禹副学部長の3役が参加

- ① 薄井新学部長による挨拶と近況報告が行われると共に、乾杯の発声が行われた。
- ② 懇談は、遠くからの参加者や、齊藤氏、学生も参加し、楽しい雰囲気で行われた。
- ③ 「埼玉大学・大学歌」斉唱
- ④ 齊藤洋氏 閉会挨拶

「経和会サロン」の開設（案）

25. 6. 14

経和会活動は経和会報の発行、総会の開催については全卒業生を対象としているがそれ以外の活動は学生会員に対する就職支援を中心に行ってきた。

昨年、院生OB会の開催を実施し、新たな試みを行ったが、卒業生への働きかけはほとんど行われていない。

今般、埼玉大学経済学部卒業生を主な対象としてゆとりある生活を微力ながら支えていきたい。今後、「経和会サロン」を開催し生活時間に余裕のある会員への便宜を図り、同窓会活動の一つの柱にしていきたい。初年度は来年2月の土曜日に開催し、参加者の意見を参考にしながら開催内容をさらに検討したい。

1. 年間4～6回のサロンを開催する。

初年度は2月の土曜日に開催予定。（候補：2月15日）講演会后、茶話会を行う。会費は1000円程度とし、室料、資料代、お茶代に充てる。

2. 名称は「経和会サロン（仮称）」とする。

3. 講師は埼玉大学の教授・名誉教授・経和会会員・卒業生のなかから人選する。

候補者例：貝山道博 名誉教授（60歳台は黄金の10年）

松本正生 経済学部教授（これからの日本の政治の視点）

山野清二郎 教養学部名誉教授（万葉集の心を楽しむ）

4. 会場は東京ステーションカレッジとする。

5. 定員は50～80名程度とし、申し込み順で受け付ける。

6. 広報宣伝方法

①総会で案内する。

②ホームページに掲載する。

③学年理事を通じ広報する。（Eメール）

④執行部、学年理事から口コミで広報する。

7. 経費：年間経費10万円、講師謝礼等に充当する。